

GLOBAL REPORT

入学・進級おめでとうございます



～出雲高校卒業の大先輩 飯塚勝校長先生～

40年ぶりに出雲高校に戻ってこられたそうです。

校長先生に就任されて5年目。飯南高校で2年、松江東高校で2年間に過ごされてました。

学生時代の一番の思い出深いエピソードは、内緒だそうで、それでも笑い話を二つだけ教えていただきました。

一つ目は、高校生の頃通学は自転車で朝30分&夕50分。弓道部の帰り、疲れ果てて自転車に乗ったまま居眠りして、朝山小学校近くの神戸川に落ちそうになったとのこと。もう一つは、球技大会

のサッカーでOWNゴールしてしまったとの悔しい思い出を語っておられました。(ご自身の運動神経はと聞くと、「う～ん」と一言おっしゃられました。)

校長先生は、ご自分のことを不謹慎な生徒だったとおっしゃっておられましたが、周囲の人からは、かめばかむほどいい味のする“するめ”のような男だと言われていたそうです。これから、どんな“味わい”を感じさせていただけるのか、大変楽しみです。



今でも覚えておられる先生は、高1時代の担任で、数学の新田順子先生。「人生には、悩むことがたくさんあるけれど、数学は答えが一つ。」この言葉が印象に残っているそうです。

40年のときを超えて、出雲高校の昔と変わっていないことのひとつが、久徴園。そして、一番驚いたことは、かつての弓道場の跡地(今は駐車場)が、今の弓道場の3分の1の広さだったことだそうです。

出雲高校生の皆さんへのメッセージ

一つは、「いろんなこと(勉強、部活や人生、新たなチャレンジ)を楽しんでほしい！」

そして、「酔生夢死」。漢文の言葉で、酒に酔ったように、夢を見ているようにぼんやりしながら死を迎えるのか、はたまた、紙一重の差で、人生の感興を酔うように楽しみ、夢を追いつつ続けながら生きていくのか。皆さんには、後者であってほしい、とのことでした。

新米です。

グローバルレポート担当 **吉野愛**です。どうぞ、よろしくお願いします。

好きなこと

- 出雲・島根情報を世界に発信する
- たくさんありすぎてかけません。



- 神戸生まれ
- 中3から日本を脱出、アメリカへ
- その後色々な国や県で暮らす
- 一年半前から出雲へ

世界の高校紹介シリーズ①

画：友人作 吉野が通った高校紹介

～アメリカ ミシガン州トロイハイスクール～

アメリカは、高校まで義務教育。公立はほぼ無料で住居地区にある高校に通学できる。日本の中学3年～高校3年にあたる年齢の子どもが、4年間高校に通う。

私学の学校に通う場合は、それぞれの手続きや学費が必要。

☆時間割★全校生徒の時間割が全員違う。朝7：20から14：06 6限まで
(スクールカウンセラーと相談して自己選択)

☆通学★ 徒歩、スクールバス、自家用車
(ミシガン州は、15歳で仮免、16歳で免許取得可)

☆部活★文化系は一年中。スポーツは季節により入れ替わる。トライアウト制。
シンクロナイズドスイミングがあつて驚いた (一年間マネージャーをした)

☆教室移動★各先生が個人の教室を持っていて、生徒が先生のいる教室へ移動
(慌てるのは、生徒)

☆大学受験★SAT/ACT (Scholastic Assessment Test 大学能力評価試験) のスコア
紹介状 (複数)、高校の成績証明書、教諭からの評価書類等

☆外国語★フランス語、スペイン語、ドイツ語、日本語、中国語

☆国語★英文学・作文、スピーチ、ディベート、作文 (新聞、ジャーナリズム、
メディア、テレビ) など。

☆食堂★カフェテリアでは、ピザ、サンドイッチ、ハンバーガー、(ベジタリアン用もある) パフェ、スムージー、サラダなどが買える。

☆制服★公立は、なし。私立は制服あり。

☆グループ学習★先生により、学習スタイルが違うが、グループ学習がある。

☆放課後★部活、習い事、帰宅。私の時代には塾はなかった。←大昔。こちらも確認します。
ACTやACTのテスト前に講習を受講したくらい。

飛び級についての質問がありました。次回に、お答えします。お楽しみに。

*アメリカの公立高校は、地区の経済状況により授業内容や制度の差があります。この情報は、ミシガン州のトロイハイスクールです。 <http://www.troycolts.org/> 学校により、制度が異なります。